

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 グラフィックデザイン専攻											
グラフィックデザイン実習 3 (1)											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	桜庭文一			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
K2（ケイツー）に勤務後、CIEL INC.を設立。 主にエディトリアルデザイン・ブックデザインを中心にグラフィックデザイン全般で活動中。											
授業概要											
※この授業では2種類の異なる目的の実習を60時間づつ設定し授業を実施します。 雑誌制作のための基本的な知識と、その実践。さまざまな要素の組み合わせで成り立つエディトリアルデザインの実際を系統立てて身につけていき、総合的に実践していく。											
到達目標											
この科目ではエディトリアルデザインの実務を身に付け、雑誌を制作する。オリジナルな雑誌を共同作業で制作する楽しさ、難しさを実践してみる。役割分担など各々の能力を再開発する。より実践で役立つようにスキルの向上を目指す。制作開始から完成まで、モチベーションを維持できるように意識する。24ページ全体をディレクションして完成させる。そのために各々の役割を自覚、実践する。印刷・製本して自分たちが創ったものを実感してみる。											
授業方法											
グループに分かれて、それぞれ24ページの雑誌を制作。そのために各自の役割を決めて作業する。											
成績評価方法											
課題完成度	60%	提出課題の完成度を評価する									
途中経過	20%	スケジュール管理や取材方法など									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
社会情勢を鑑みながら、取材・撮影などデスクワークだけでなく行動する。作業負担が偏らないように分担する。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	企画・立案①/グループ分かれて、全体の進行など確認。										
第2回	企画・立案②/企画会議、役割分担、スケジューリングなど。										
第3回	企画・立案③/立案、具体的な内容など決定。										
第4回	企画・立案④/資料集め、取材など制作準備。										
第5回	取材①/取材および制作。										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 グラフィックデザイン専攻	
グラフィックデザイン実習 3 (1)	
第6回	取材②/取材および制作。
第7回	取材③/取材および制作。
第8回	取材④/取材および制作。
第9回	ワーク①/取材および制作。誌面制作。
第10回	ワーク②/取材および制作。誌面制作。
第11回	ワーク③/誌面制作。
第12回	ワーク④/誌面制作、確認。
第13回	ワーク⑤/修正および調整など。
第14回	完成/最終確認。簡易出力。
第15回	入稿/出力見本の確認、講評。入稿。

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 グラフィックデザイン専攻											
グラフィックデザイン実習3(2)											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	青木二郎			実務経験	有	職種	アートディレクター				
担当教員紹介											
多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業。 広告制作会社、広告代理店を経て、2010年に株式会社ハツメイ設立。 受賞歴として、NY ADCシルバー、ONE SHOW DESIGNゴールド、ACCシルバー など。											
授業概要											
※この授業では2種類の異なる目的の実習を60時間づつ設定し授業を実施します。 この科目は、広告の企画・制作に必要なスキルの習得を目的とする。技術力の向上はもちろん、視野を広げて自ら社会課題を発見すると同時に、個人的なテーマを掘り下げて思考を磨き、他者とのコミュニケーションとしてのデザインを生み出す力を養いたい。											
到達目標											
課題に応えるための論理的な思考力、自己表現を可能にする思索力、他者との共生に不可欠な伝達力を養い、コミュニケーションとして機能する広告デザインを生み出すことを目標とする。											
授業方法											
講義・演習・講評のサイクルで授業を進める。知識をインプットし、自らの頭で考えて手を動かし、他者と意見交換するという一連の流れの中で、表現者としての思考と振る舞いを身につけたい。演習は授業内で行うと同時に、自主課題として課すこととする。											
成績評価方法											
リサーチ プレゼン 課題 平常点	20% 20% 40% 20%	課題制作準備（資料収集・考察）の内容を評価する。 制作物の発表方法、内容を評価する。 最終課題の完成度を総合的に評価する。 授業内の課題完成を、授業参加度、授業態度を評価する。									
履修上の注意											
この授業では、学生自身の主体性を重視する。授業に出席するだけでなく、積極的に質問や意見を出すように心がけてほしい。 なお、理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席していない者の最終課題は採点対象としない。											
教科書教材											
必要に応じて、授業にて指示・配布を行う。											
回数	授業計画										
第1回	広告制作の実情を把握して、獲得すべきスキルと目指すべきクオリティを把握する。										
第2回	制作課題① 講義、制作準備										
第3回	制作課題① 実制作										
第4回	制作課題① 講評										
第5回	制作課題② 講義、制作準備										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 グラフィックデザイン専攻	
グラフィックデザイン実習 3 (2)	
第6回	制作課題② 実制作
第7回	制作課題② 講評
第8回	最終制作課題 講義、制作準備
第9回	最終制作課題 中間報告①、講評
第10回	最終制作課題 中間報告②、講評
第11回	最終制作課題 中間報告③、講評
第12回	最終制作課題 中間報告④、講評
第13回	最終制作課題 プレゼンテーション
第14回	最終制作課題 講評
第15回	全体のふりかえり